

派生開発研修

(オンライン開催, 演習付き)

最近のソフトウェア開発では新規開発の機会はほとんどなく、既存のソフトウェア資産（レガシーコード）に対する変更や機能追加を行う「派生開発」が多くなっています。その結果、短納期化や部分的な理解での作業、ソースコードが古く劣化している等、派生開発特有の状況のため、品質を確保するのが非常に難しくなっています。

本研修では、このような品質問題を改善する目的で「派生開発に特化した開発プロセスXDDP (eXtreme Derivative Development Process)」を学習します。演習では、変更要求仕様書、トレーサビリティ・マトリクス、変更設計書等の作成を予定しています。

派生開発におけるソフトウェアの品質問題でお悩みの方は、ぜひ、この機会をご利用ください。

○オンライン研修について

本研修は、インターネット環境が整っていれば、自社内または自宅等での受講が可能なオンライン研修^(※)です。オンラインを通じて、講義の受講だけでなく、講師への質問なども行う事ができます。これまで、距離や時間の問題で、当センターの研修受講が難しかった方でも、技術を学んでいただけます。

(※) 研修内容の録画はご遠慮ください。

- 日時 令和5年1月11日(水) 9:00~17:00 (開始30分前から受付開始)
- 講師 古畑慶次氏 (派生開発推進協議会 副代表/生産経営研究所 代表取締役)
- 会場 オンラインセミナー配信システム「Zoom」を使ってライブ配信します。
受講者は、有償ライセンスは不要です。
アクセスするURL、パスワードについては、お申し込みいただいた方にお伝えします。
Zoomの利用に必要な環境・要件等はZoomのサイトをご覧ください。
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>
※接続方法に関する個別対応はいたしかねますので、各自ご準備をお願いいたします。
※複数名で受講される場合、ハウリング防止のため、イヤホン等をご準備ください。
※演習時に、受講者側のPCからも解答を画面共有していただきます。
※Zoomデスクトップクライアントの最新版をご準備ください。
- 受講用PC 演習時にMS-Office (Word, Excel, PowerPoint) を使用しますので、ご準備ください。
- 受講料 3,300円/人 (税込み)
- 定員 10名
- 対象者 派生開発を体系的に学びたい方 (社会人)
- 前提知識 簡単なプログラム (C言語) を読めると理解が進みます。
- 内容

1. 派生開発とは何か?	5. 変更のプロセス
2. 派生開発の特徴と問題	6. 実装・テスト・公式文書
3. XDDPの基本	7. 取り組み時の注意
4. 追加のプロセス	8. XDDPの成功事例

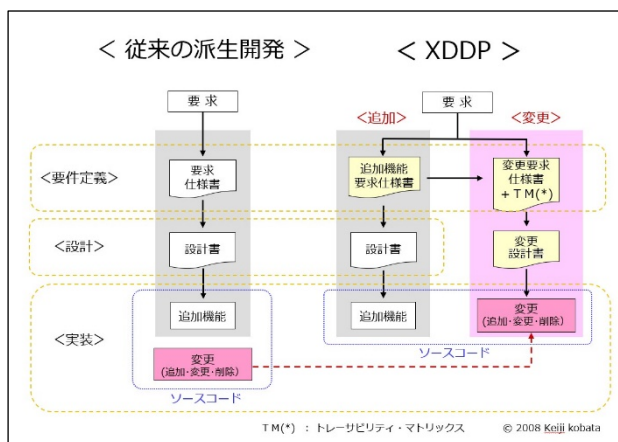


図 従来手法との比較

●お申し込み方法

- 本申込書に記名押印いただき、締切日までに到着するように、**郵送にて**お申し込みください。
※ただし、応募者多数の場合、
 - **早期に受付を終了させていただく**場合がございます。
 - **1社より多数お申し込みいただいた場合、調整させていただく**場合がございます。
 - 受講が決定した場合、受講決定通知書と受講料納入通知書を送付しますので、所定の金融機関^(※1)にて、納入通知書に記載の期日までに受講料を納付してください。
- ※1 取扱い金融機関一覧（ただし、ゆうちょ銀行を除く。）：

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kaikei/siteikin.html>

※なお、受講決定通知日以降に受講者の都合によりキャンセルされた場合も、受講料は納付していただくこととなりますので御注意ください。

※研修内容の質の向上を目的として、研修終了後に受講生の上司の方にアンケートへの御協力をお願いする場合がございます。

●その他

（参考）当研修には、助成金が適用される場合があります。下記webページを御参照ください。

- 厚生労働省 人材開発支援助成金
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
- 厚生労働省 雇用調整助成金
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07.html

【情報の利用及び提供の制限】

宮城県産業技術総合センターでは、本応募用紙で収集した情報について、研修やセミナー参加者への連絡・問い合わせへの回答に利用します。さらに、希望される場合のみ宮城県産業技術総合センターが主催する事業の情報配信に利用します。

また、宮城県産業技術総合センターは、本応募用紙で収集した情報は、法令に基づく開示請求があった場合、本人の同意があった場合、その他特別の理由のある場合を除き、第三者に提供いたしません。

●お申込み先及びお問い合わせ先

宮城県産業技術総合センター 機械電子情報技術部

情報技術開発班 今井

〒981-3206 仙台市泉区明通2丁目2番地

TEL 022-377-8700 FAX 022-377-8712

E-mail mest@mit.pref.miyagi.jp

URL <https://www.mit.pref.miyagi.jp/eventseminar/embedded/>